

# 神庭の空

校長通信〈No. 6〉

平成25年3月12日

一雨ごとに、春の訪れを感じます。

出勤時間の空も明るくなり、爽やかになってきました。

3月に入り、学校は今年度のまとめと新年度の準備を同時進行で進めています。

卒業学年の児童生徒は、過ぎ行く一日一日をいとおしむように、友達との何気ないおしゃべりを楽しみ、それぞれに残りわずかな学校生活を満喫しているようです。学校を巣立つあなた方一人ひとりに、「卒業おめでとう。幸せにね」と声をかけたい想いです。卒業後の生活は楽しいことばかりではないでしょう。どうぞくじけないで、これからも笑顔で過ごせるよう心から願っています。

〈高等部 B 課程・国語の授業で卒業生が一句〉

さくらだよ  
やつと終わった  
十二年

卒業後  
それぞれの  
みち  
すすんで  
いく

さみしいな  
先生お別れ  
泣くせいと

## 「第2回ほっとタイム in 校長室の報告」

2月14日(木)と、18日(月)に、第2回ほっとタイム in 校長室を開催しました。残念ながら14日の知的障害教育部門にはだれもお見えにならず散会となりましたが、肢体部門からは参加いただき、保護者のお話を直接伺うことができました。ご多用の中、参加いただいた保護者の皆さまに感謝申し上げます。

話題は、給食やSBについてが多くありました。参加されなかった保護者の関心も高いと思いますので、学校からお話した内容も加えて報告します。

### Q給食の食形態は初期・中期とあるが、後期食の対応は難しいか？

中原養護の厨房施設や調理員の人数等の状況から考えると、初期食・中期食・通常食の3形態の提供とアレルギー対応で一杯というのが現状です。そのため後期食は、担任が生徒の咀嚼能力に合わせ、その日のメニューから中期と通常食を組み合わせ対応しています。初期食のなめらかさについても以前からご要望があり、課題になっています。改善して、少しずつ食べやすくなったとも伺っています。

## Q バス停は家の近くにならない？

神奈川県はSBの長時間乗車を解消するために、平成23・24年と肢体不自由教育部門を優先的にSBの増車に取り組んできました。本校も23年にオレンジバス、24年にピンクバスと増車が続き、現在7台のバスで肢体不自由部門の児童生徒の通学を支えています。

2台増車の結果、乗車時間が60分以内に改善したコースもありますが、まだ厳しいコースもあります。大型バスで小回りが利かないことや、ご家庭の事情に合わせてバス停を設置するため周回に時間がかかっています。乗車時間が長いと児童生徒の負担も大きくや始業や終業時間にも影響が出ます。個々の事情と乗車時間のバランスを考え、バス停設置を行っております。どうぞご理解ください。

また、車椅子固定にはバス専用の固定具を使用します。バギーでは専用の固定具が使用できないことが多いので、車椅子を新しく作成される時などご注意ください。

## Q 個別教育計画の話し合いは十分できていますか？

家庭訪問では、家庭の様子を伝えることが先になり個別教育計画が後回しになることも多いとの意見もいただきましたので、次年度から、5月の定期家庭訪問は、支援シートを作成する小1、小4、中1、高1の学年に絞り実施いたします。他の学年は、個別指導計画に関する個別面談を実施いたします。保護者の皆さまのご理解とご協力を、よろしくお願ひします。

定期実施とは別に必要に応じて行う家庭訪問は、従来通り実施いたします。こういう目的でぜひ家庭訪問をというご家庭は、気軽に担任にご相談ください。

## 「医療ケア懇談会」

ほっとタイムに続き、医療ケア懇談会を開きました。

開始時間が10時だったため参加の出足が遅く心配しましたが、徐々に参加者が増え有意義な会になりました。主な内容は、本校の医療ケアにおけるヒヤリハット件数やリスクレベルの報告、県の動向についてです。

今年度は、制度改革の初年度でしたが、大きな混乱はなく円滑に移行が進みました。また3.11以降大規模災害への対応も進み、常時酸素が必要な児童生徒の災害用として学校保管のガイドラインが県で策定されました。夜間のみでのケアの防災対策なども今後大きな課題になってきます。本校でもいろいろな準備が必要になると考えています。また今年度からケアを実施している学校全てに非常電源(ガスボンベ型)が常備されました。(今回お見せできなかったのも、次回の医療ケア懇談会では実際にその電源を使って吸引等のケアを実施したいと思ひます)

その他、一部の医療機関で取組が開始されたミキサー食の胃ろうショット注入について参加者で情報交換を行いました。既に実施を検討している学校もあり、県として取り組む際の留意事項をまとめました。本校でも他校の検討例を参考にしながら、安全第一に準備を進め、保護者からの申請の相談に的確に対応できればと考えております。また本校の担当医である麻生DRは、次年度も継続いただけます。良かったです。